

## 市民・大学・企業などの民間活力導入の取組例

### 1 地下鉄駅施設の有効活用・活性化の取組例

#### (1) メトロギャラリー

平成 19 年度から地下鉄駅 10 駅を対象に、広報さっぽろ等を通じて市民から絵画、手芸、書道等の作品を公募して 2, 3 週間単位で展示。



#### (2) 駅の空きスペースの有効活用策

21 年度から公募によるテナント募集を実施し、26 年度までの 5 回の公募により、コンビニエンスストアなど、11 店舗が出店。



#### (3) 駅の個性化の取組み

地下鉄駅を単なる「通過点」とするのではなく、地域イベント・沿線施設との連携や地域情報発信の拠点として、憩いや賑わいのある空間に活用していくことで、それぞれの駅の特徴を出しつつ、地域のまちづくりと地下鉄の利用促進につなげていくもの。16 駅で実施実績あり、今後も拡大予定。

[取組例]真駒内駅の駅ナカアート（地域住民、市立大学、南区役所と連携）、月寒中央駅のカーリング装飾（道新）、バスセンター駅の劇団四季の装飾（劇団四季との連携）



### 2 若者や女性の感性などを活用する取組例

#### (1) 北星学園大学との連携

26 年度は、「地下鉄活性化プロジェクト」を発足しグループワークにより、学生から乗車人員増のアイデアを提言してもらった。

今後はこの提言内容の実現に向け検討していく予定。

（プロジェクトメンバー：北星学園大学 33 名、交通局 6 名）



#### (2) 札幌きもの学院との連携

26 年度に札幌きもの学院と連携し、花火大会時に「浴衣の着くずれ直しコーナー」を大通駅の空きスペースに設置し、お客様サービスの取組みを実施した。



#### (3) 市立大学との連携

27 年度は地下鉄マナー向上の取組みとして、マナーポスターのデザイン制作を沿線の学校や市立大学と連携して実施していく予定。